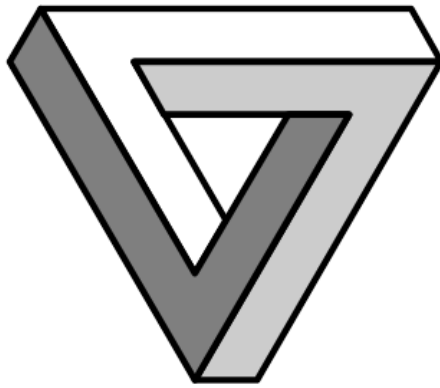


本物の

中学受験

といえは、

入江塾



welcome!



京都市北区大將軍川端町 97 (北野教室)

教場：北野・桂・出町 各教室

info@ikuseisha.co.jp

http://www.ikuseisha.co.jp

育星舎



イクセイシャ

0120-19-71-48

(平日午後3時～)

入江塾の特色

1. 合格は結果です

巷には保護者の弱みにつけ込んで生徒獲得のために「合格を保証します。」と言って多額の指導料を請求する塾や派遣センターがあると聞きます。そんなことは私どもにはできません。しかし、多感な少年時代に敗者の意識を持たせることなく、希望校合格という大きな夢を叶えてもらえるよう、我々受験のプロ集団が最大の努力を払うことを誓います。そして成功の法則「結果を確信することで誠実な努力が生まれ実を結ぶ」を教えます。入江のこの方針は、教頭の佐藤をはじめ、それぞれユニークな個性を持った講師達も理解しており、夢実現のために生徒・保護者に全力で対応しております。



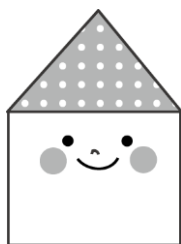
2. 学力選抜は行ないません

学力判定はさせていただきますが、学力によって入塾選抜は行なっておりません。理由はいくつかあります。

- ① 小学3年生から小学6年生の頃の学力変化は、たった1つの試験では簡単に想定できません。九九もまともにできなかった入江自身、3年生の担任の一言で4年生から成績が劇的に上昇しました。
- ② 入塾させるためのただ名ばかりの選抜試験であれば、「この集団に属しておれば、なんとか合格できるのではないだろうか」と思わせるような塾サイドの営業行為に他ならないからです。売上げの対象とは知らずに喜んで入塾してしまい、後悔している方をたくさんみてきました。
- ③ 学力のある生徒だけを集美合格実績を出すのではなく、学力を伸ばして合格実績を出すのが当塾の使命だと考えています。優秀な生徒を集めたら合格実績が出ることは必然です。

3. 学習量は個別に決めています

生徒本人の状況を見ずして長時間学習と膨大な宿題を課すると2つの大きな問題が生じます。脳が条件反射的に勉強を拒絶するようになる場合と、ズルク立ち回るようになり学問の王道を歩まなくなる場合です。どちらも1度身につけてしまえば矯正はほとんどできない恐ろしい事態に陥ってしまいます。このような問題をかかえた生徒は、もちろん受験には成功できません。入江塾では学習量が成績の伸びと比例するとは考えていません。そのときどきの生徒の精神年齢や心理状態、そして体質・性格に応じて学習量を決めていかねばならないと思います。その調整の結果、当塾では6年生になって急に伸びていく生徒が多くいます。そして入試直前まで伸び続け、当初は夢のようだった志望校に合格していくのです。



4. 習い事・クラブ活動等も認めます

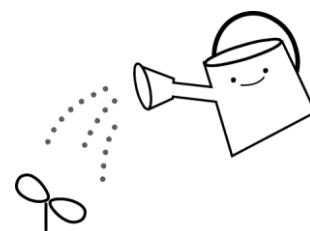
育星舎グループには理科実験教室「科学の学校」もあります。ここでは小4生以上になると「中学受験のために通塾回数が多くなり、勉強量も増える」との理由で退会する生徒が何人か出てまいります。科学的思考を養うことは中学入試にも役立つことなので非常に残念に思います。

入江塾では中学受験とは無縁と思われる習い事などでも止めることは押しつけません。本人の意思を見ずして無理やりそれをなくしたとしても学習効果が上がるとは思わないからです。志望校合格の夢が大きくなれば生徒は自然とそれを整理していくものです。



5. 競争原理を利用しません

年間数回の試験を行ない、その成績によって塾内でクラス分けを行っている進学塾がありますが、そのような競争原理を利用した受験勉強は当塾では行なっておりません。確かに社会に出るために競争を体験することは必要だと思います。しかし、この「ふるい落とし効果」は受験指導をする側にとって都合のよいものであって、多くの生徒・保護者にとってはそれ程有難いものではありません。弊害の方がはるかに大きいのではないのでしょうか。そのような環境の中では学歴至上主義が生じやすく、また本当の学問に進むような人間は出てこないでしょう。しかし保護者の中にはそんな環境の中に我が子を入れた方がたくましくなると短絡的に考えている方がおられます。入江塾にはそのような熾烈な戦いの中で疲れ切った生徒がときどき転塾して来ます。わが子のこのような兆候を察知したならばできるだけ早く対処していただきたく思います。時間が経てばそれだけ回復は遅れてしまいます。当塾では成績で他人を判断しない指導のもと、子ども同士の出会いが意外と良い結果を生み出しています。良きライバルは一生の友となります。



6. 塾生は遠方から来られます

入江塾は規模は大きくありませんが、通塾圏は広範囲です。通う生徒・保護者の方々のことを考えれば本当に申し訳なく思います。ただ、私を中心とした講師陣は数限られております。料理屋で言えば、店舗を展開すれば味が落ちるようなもので、どうしても矛盾に悩まなければならぬのが現状です。過去には岐阜県・滋賀県・奈良県からも北野教室まで通ってくれていました。大変だとは思いますが、送迎もありますので案外時間はかからないようです。中学校入学後からの毎日を考えれば同じようなものかともいえますが、遠いからとすぐにあきらめず、一度通塾を検討していただきたいものです。



入江塾での学習サイクルについて

1. 授業に備えての予習

主テキストには「予習シリーズ」と書かれています。ですから授業前にその単元の例題・解説に目を通しておいてください。例題の中には難問もありますが、それは理解できなくてもよいです。「次の授業はどんなことをするのか」という軽い気持ちでページをめくってください。



2. 授業当日の学習

☆算数…週1回・60分の授業なので板書を最小限にするため、「予習シリーズ・計算」「予習シリーズ・算数」のテキストの中から取り出した問題に解法を記述した「解説プリント」を渡します。授業ではその解説プリントを用いて各回の重要ポイントを説明し、問題を順に解説していきます。解説プリントには図や式がかかれています。途中空欄部分があり、また答えまでは書いていません。答えに至るまでの過程をしっかりと考えてもらいます。短時間に多くの問題を解説する機会が多いので、集中して聞くことが必要になってきます。授業の終盤では自分自身で問題を解きます。授業で説明した図や公式をきちんと使い、習った通りの解き方で解いてください。回によって、単元のポイントを整理・解説した「資料」を渡すときがあります。資料は3年間にわたって多数配布するので資料だけをまとめて保存するバインダーを用意し、授業の度に持ってきてください。



☆他の教科…予習シリーズのテキストをそのまま使います。また、板書は教科ごとにページを分けて写してください。ノートは切り取ることができます。教科ごとにファイルしていきましょう。

3. 授業後の学習

☆算数…テキストプリントの問題を授業で習った解法で解いていってください。式・図などの答え以外の解く過程をしっかりと書きましょう。それらは授業をしっかりと聞いていたかの判断材料となりますので、決して答えだけを書くということのないようにしてください。また、筆算はテキストプリント余白の部分に書き、消さないでおきましょう。これは受験本番に役立てるためです。丸付けは各自でやりましょう。1問ずつでも1ページずつでも構いません。答えは基本テキストにあります。間違った場合は答えを参考にしてもよいですが、自分の力でもう一度解いてみてください。その時は鉛筆を使います。そして、そのあともう一度青で丸付けを行ってください。3回目は緑というように色を変えて丸付けを行ないましょう。わからないときは、答えを写さずにそのままに質問をするようにしてください。



☆他の教科…授業で学習した回の練習問題が宿題になります。理科・社会は授業中に配るプリントに答えを記入します。国語は、解答・解説の冊子の後ろに解答欄がありますので、それを切り離して使いましょう。答え合わせは各自で行ないます。

☆宿題は次の授業までに、入江塾の講師に提出してください。

4. 演習や個人指導での学習

演習では、すぐに質問をせずテキストの解説をよく読んでそれでも理解できない場合にしてください。また、解説と異なる解法で答えが出た場合には、演習の講師に聞いてください。ただ、授業での解法やテキストの解法のほうがより合理的なことが多いですので、そのような場合はそれも付け加えておいてください。また個人指導では、講師に頼りきりにならないように注意してください。



テキストが終わった生徒はプリントを用意しますので、講師に声をかけてください。

5. テキスト以外の学習

☆算数…宿題は、最小限の学習です。「予習シリーズ・計算」の問題を反復学習して、定着をはかりましょう。余裕のある生徒は、「予習シリーズ・算数」の例題や練習問題に挑戦するのもよいでしょう。市販の問題集をたくさん購入して子供に与えることは、量をこなすだけの学習が身についたり、理解しきれず消化不良をおこす可能性がありますので、あまりおすすめできません。教室には、様々なレベルに応じた問題集やテスト過去問題が多くありますので、講師が生徒に見合った課題を渡すことができます。是非、演習の時間を有効に活用して下さい。



☆他の教科…授業の回の練習問題は最小限の宿題になります。国語の「漢字とことば」は繰り返し練習して身につけておきましょう。理科社会の反復学習には、「演習問題集」を利用して下さい。算数と同様に、演習では生徒の得手不得手にあわせて、課題を取捨選択していきます。

6. 保護者のご協力について

保護者の協力は不可欠です。まず、学費などの経済的な面については生徒に伝えることは控えて下さい。また、本科生の場合、入江塾に内緒で家庭教師などをつけしないで下さい。さらに指定以外の模擬テストを受ける場合は前もって御相談下さい。いずれも生徒と塾、保護者と塾の信頼関係を損ねる場合があります。次に学習面では、お子様と良好な関係であれば学習指導していただいても結構です。ただ、算数に関しては独特の指導法がありますので、授業で習った方法で教えていただきたいものです。また、塾で把握していない別の問題集などを使っている御家庭がありましたが、結果的に効果は思わしくありませんでした。これらのことも含め、保護者面談などで緊密に連絡をとりあっていただければ幸いです。

